取扱説明書

省エネ温調タイマー

型式：SSC-508
（ES-DWシリーズ用）

このたびは、省エネ温調タイマー付電気給湯器をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書事前によくお読みになり、理解した上で設置・ご使用ください。
設置工事（試運転）後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。
（この取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、弊社は一切責任を負いません。）

株式会社日本イトミック
〒131-0045 東京都墨田区押上1-1-2 東京スカイツリーイーストタワー24F
TEL:03（3621）2121（大代表）　FAX:03（3621）2130
フロント課（修理依頼承り先）
TEL:03（3621）2161（代表）　FAX:03（3621）2163

もくじ

1. 必ずお読みください

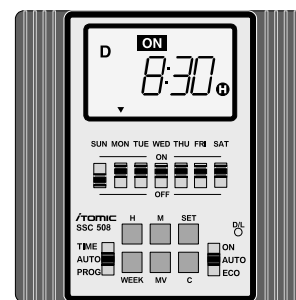
本書について

本書は大切に保管いただき、時計機能・タイマー運転内容の変更・再設定時やエラー等の不具合発生時にご参照ください。

本製品（省エネ温調タイマー、型式：SSC-508（ES-DW シリーズ用））について

本製品は温調機能・タイマー機能・省エネ機能を兼ね備えたコントローラーです。給湯器の電源を入れると、現在時刻を表示し運転します。

工場出荷時に現在時刻・曜日と汎用的なタイマー運転内容「おすすめプログラム」（※）をインプット済みです。
適宜必要に応じて本書をご参照いただき、運転内容を変更してお使いください。

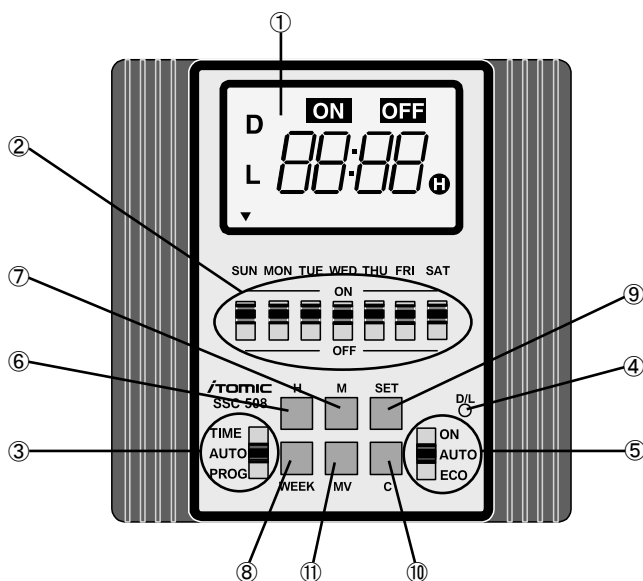
通常表示例（月曜日 現在時刻 8:30 の場合）

※「おすすめプログラム」とは…

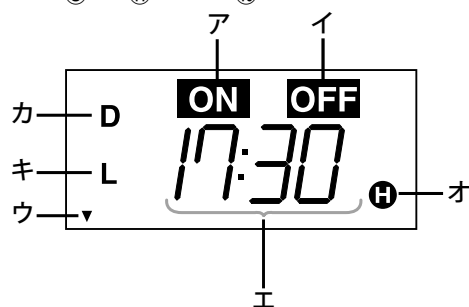
タイマー運転時刻と運転曜日を設定した、汎用的なタイマー運転内容です。変更しない限り、給湯器はこの内容で運転します。この内容は停電や休暇などで電源を切った場合でも、改めて各種設定をする必要はありません。

運転する曜日 … ○印

日（SUN）	月（MON）	火（TUE）	水（WED）	木（THU）	金（FRI）	土（SAT）
ー	○	○	○	○	○	○
運転 休止	6:30 ON 18:30 OFF	6:30 ON 18:30 OFF	6:30 ON 18:30 OFF	6:30 ON 18:30 OFF	6:30 ON 18:30 OFF	6:30 ON 18:30 OFF

2. 各部名称

①表示部
②曜日選択スイッチ
③モード切替スイッチ
④ D/L切替キー
⑤出力切替スイッチ
⑥ H（時間）キー
⑦ M（分）キー
⑧ WEEK（曜日）キー
⑨ SET（セット）キー
⑩ C（クリア）キー
⑪ MV（確認）キー

表示部

ア）運転 ON 表示
イ）運転 OFF 表示
ウ）曜日表示
エ）時刻表示 / 現在湯温表示 /E表示
/Err 表示 /End 表示
オ）ヒーター通電表示
カ）D 表示（DWタイプの表示）
キ）LONG モード表示

3. 運転する時間帯や曜日を変更する

運転時間帯設定についての注意事項

本製品は **1 日に複数回 ON/OFFを行う運転設定はできません。また、日毎に違う時間帯で運転することもできません**のでご注意ください。
（ON/OFFは1日または1週間に 1 設定登録可能。日をまたぐ運転を設定することも可能です。）

運転中

○	設定可能な例 ONとOFFが1日に1回だけの運転パターン。	ON — OFF
×	設定不可な例 ONとOFFが1日に複数回ある運転パターン。	ON OFF / ON OFF / ON OFF
		6:00 12:00 18:00

P.3 参照　P.3 参照　P.5 参照　P.6 参照

【 運転する曜日を変更する場合 】

おすすめプログラムや独自に設定した運転内容から曜日だけを変更したい場合は、曜日選択スイッチをON（運転）またはOFF（休止）することで、簡単に切り替えることができます。

設定例 **運転曜日を月 / 水 / 金曜日に変更し、運転時間は変更しない。**

運転する曜日 ･･･ ○印

日（SUN）	月（MON）	火（TUE）	水（WED）	木（THU）	金（FRI）	土（SAT）
ー	○	ー	○	ー	○	ー
運転 休止	ON OFF	運転 休止	ON OFF	運転 休止	ON OFF	運転 休止

注意）初期設定は運転開始時刻 ･･･6:30、運転終了時刻 ･･･18:30、運転曜日 ･･･ 月曜日～土曜日。

【 毎日同じ時間に運転する場合 】

設定例 **運転開始時刻 ･･･5:20、運転終了時刻 ･･･22:00、運転曜日 ･･･ 月曜日～金曜日**

運転する曜日 ･･･ ○印

日（SUN）	月（MON）	火（TUE）	水（WED）	木（THU）	金（FRI）	土（SAT）
ー	○	○	○	○	○	ー
運転 休止	5:20 22:00 ON OFF	5:20 22:00 ON OFF	5:20 22:00 ON OFF	5:20 22:00 ON OFF	5:20 22:00 ON OFF	運転 休止

注意）初期設定は運転開始時刻 ･･･6:30、運転終了時刻 ･･･18:30、運転曜日 ･･･ 月曜日～土曜日。

(1) 運転開始時刻の設定

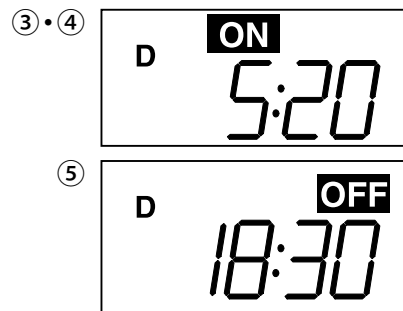
①モード切替スイッチを[PROG]にします。
…既に設定されている運転開始時刻（初期設定のままでは【6:30】と【ON】）が表示されます。

②表示部左下に **L の表示がないことを確認**します。L 表示がある場合は、ペン先などで『D/L』キーを押して表示を消してください。
…『D/L』キーを押すと運転開始・終了時刻は初期設定に戻ります。

①・②

③『H』キーを押して時を 5 に合わせます。

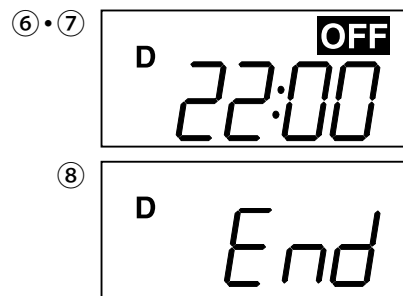
④『M』キーを押して分を 20 に合わせます。

⑤『SET』キーを押して運転開始時刻の設定終了です。
…既に設定されている運転終了時刻（初期設定のままでは【18:30】と【OFF】）が表示されます。

（2）**運転終了時刻の設定**

⑥『H』キーを押して時を 22 に合わせます。

⑦『M』キーを押して分を 00 に合わせます。

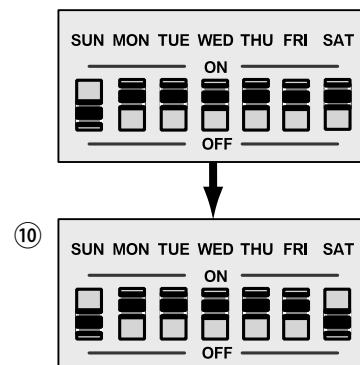
⑧『SET』キーを押して運転終了時刻の設定終了です。
…液晶画面に【End】が表示されます。

⑨モード切替スイッチを AUTO モードに戻して運転時間の設定完了です。
…運転開始 5:20、運転終了 22:00 に設定され、現在時刻が表示されます。

注意）運転開始時刻・運転終了時刻を同じ時刻に設定したなど設定が誤っている場合は、上記⑨でモード切替スイッチを AUTO モードに戻した際、【Err】を表示します。設定を修正してください。

運転時間帯設定についての注意事項→ P.2 参照

（3）**運転曜日の設定**

⑩曜日選択スイッチの MON（月曜日）～ FRI（金曜日）までを上(ON)に、SUN(日曜日)とSAT(土曜日)を下(OFF)にします。

…運転曜日が月曜日～金曜日に設定されました。

Point ワンポイント

動作が同一であれば、下記のような日をまたぐ運転設定も可能です。

設定例 **運転開始時刻・・・10:20、運転終了時刻・・・1:00、運転曜日・・・月曜日～土曜日**

運転する曜日・・・○印

日（SUN）	月（MON）	火（TUE）	水（WED）	木（THU）	金（FRI）	土（SAT）
ー	○	○	○	○	○	○
OFF	ON	OFF ON	OFF ON	OFF ON	OFF ON	OFF ON
1:00	10:20	1:00 10:20	1:00 10:20	1:00 10:20	1:00 10:20	1:00 10:20

【 １週間のうち一定期間連続運転する場合(LONGモード運転) 】

設定例　運転開始時刻・・・月曜日 5:20 〜運転終了時刻・・・金曜日 22:00

運転する曜日・・・○印

日(SUN)	月(MON)	火(TUE)	水(WED)	木(THU)	金(FRI)	土(SAT)
―	○	○	○	○	○	―
運転休止	5:20 ON				22:00 OFF	運転休止

注意）初期設定は運転開始時刻・・・6:30、運転終了時刻・・・18:30、運転曜日・・・月曜日〜金曜日

(1) 運転開始時刻の設定

①モード切替スイッチを[PROG]にします。

…既に設定されている運転開始時刻（初期設定のままでは【6:30】と【ON】）が表示されます。

②表示部左下に**Lの表示があることを確認**します。L 表示がない場合は、ペン先などで『D/L』キーを押して表示させてください。

…『D/L』キーを押すと運転開始・終了時刻は初期設定に戻ります。

③『H』キーを押して時を 5 に合わせます。

④『M』キーを押して分を 20 に合わせます。

⑤『WEEK』キーを押して▼表示を月曜日（MON）に合わせます。（▼を別の曜日に移動するには『WEEK』キーをさらに押してください。）

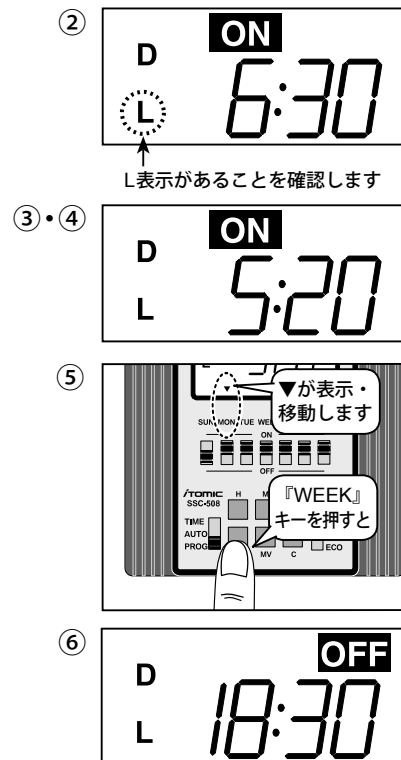
⑥『SET』キーを押して運転開始時刻の設定終了です。

…既に設定されている運転終了時刻（初期設定のままでは【18:30】と【OFF】）が表示されます。

②

③・④

⑤

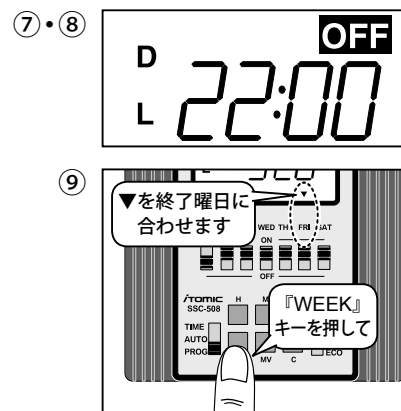
⑥

(2) 運転終了時刻の設定

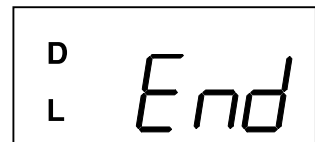
⑦『H』キーを押して時を 22 に合わせます。

⑧『M』キーを押して分を 00 に合わせます。

⑨『WEEK』キーを押して▼表示を金曜日(FRI)に合わせます。（▼を別の曜日に移動するには『WEEK』キーをさらに押してください）

⑦・⑧

⑨

⑩『SET』キーを押して運転終了時刻の設定終了です。

…液晶画面に【End】が表示されます。

⑩
⑪モード切替スイッチを AUTO モードに戻して運転時間の設定完了です。

…運転開始 5:20、運転終了 22:00 に設定され、現在時刻が表示されます。

運転時間帯設定についての注意事項→ P.2 参照

Point ワンポイント ON/OFF が 1 週間に 1 回であれば、下記のような日をまたぐ運転設定も可能です。

設定例 運転開始時刻・・・金曜日 5:20 〜 運転終了時刻・・・水曜日 22:00

運転する曜日・・・○印

日（SUN）	月（MON）	火（TUE）	水（WED）	木（THU）	金（FRI）	土（SAT）
○	○	○	○	−	○	○
			OFF 22:00	運転休止	ON 5:20	

【 連続運転する場合 】

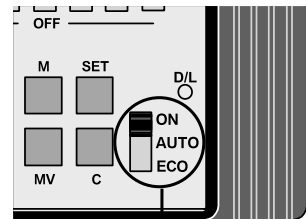
設定例 タイマーの設定に関わらず、給湯器を連続運転する場合の設定です。

運転する曜日・・・○印

日（SUN）	月（MON）	火（TUE）	水（WED）	木（THU）	金（FRI）	土（SAT）
○	○	○	○	○	○	○
			24 時間連続運転			

①出力切替スイッチを ON にします。

…液晶画面が現在湯温表示に切り替わり、連続運転が開始されます。

タイマー運転に戻すときは必ず出力切替スイッチを AUTO または ECO （省エネモード運転→ P.8）にしてください。

出力切替スイッチ

現在温度が 95℃の場合

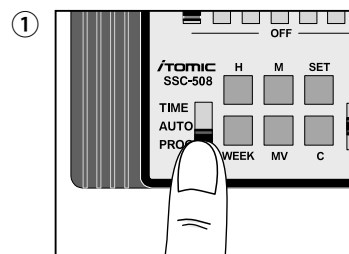
4. お湯の温度を設定する

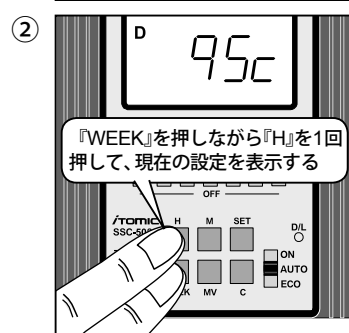
注意）■初期設定では 95℃に設定済みです。

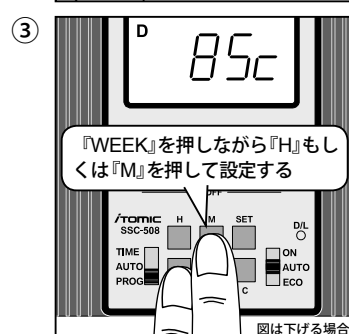
■設定温度範囲は 65 ～ 95℃です。

■湯温を80℃以下に設定する場合は、衛生面から飲用に注意してください。

【 お湯の設定温度を95℃から85℃に変更する 】

①モード切替スイッチをPROGにします。

②『WEEK』キーを押しながら『H』キーまたは『M』キーを 1 回押します。

…現在の設定温度 95℃が表示されます。

③設定温度を下げたい場合は『WEEK』キーを押しながら『M』キーを押します。1 回押すごとに 1℃ずつ下降します。

設定温度を上げたい場合は『WEEK』キーを押しながら『H』キーを押します。1 回押すごとに 1℃ずつ上昇します。

④表示が“85C”になったら『SET』キーを押します。

⑤モード切替スイッチをAUTOモードに戻して完了です。

①

②

③

5. 設定の確認をする

【 運転する時間帯を確認する 】

①モード切替スイッチをPROGにします。

…運転開始時刻が表示されます。

②『MV』キーを押します。

…運転終了時刻が表示されます。

③モード切替スイッチをAUTOモードに戻して終了します。

①

②

【 設定温度を確認する 】

①モード切替スイッチが AUTO になっていることを確認してください。
②『WEEK』キーを押しながら『H』キーを1回押します。
…約5秒間、現在の設定温度が表示されます。

②
【 現在の湯温を確認する 】

①モード切替スイッチが AUTO になっていることを確認してください。
②『MV』キーを押します。
…約5秒間、現在の温度が表示されます。

②
6. 省エネモードで運転する

【 省エネモードとは… 】

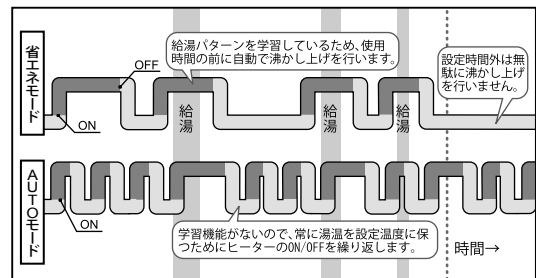
過去2週間の運転記録をもとに、最も効率のよいヒーター通電を行います。

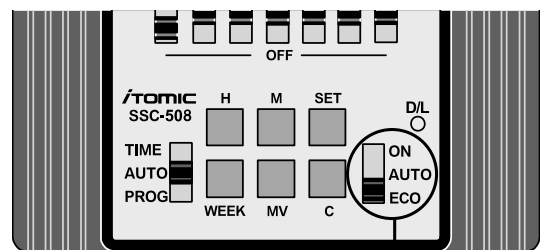
	通常運転	省エネモード
通電時間	92.5 分	87.45 分
電気料金	約 71.688 円	約 67.774 円

1日の差額…約3.91円
⇒ **1年間で約1,240円の節約**（当社調べ※）

条件：水温12.3℃、機種ES-20DW3B（単相200V3.1kW）、1kWh ＝ 15円、おすすめプログラムで月〜土曜に運転

※使用状況などによって効果があまり得られない場合があります。
常時一定の湯温が必要な場合は使用出来ません。

注意）省エネモードの場合、あまりお湯を使用しない時間帯は設定温度〜設定温度マイナス10℃（設定温度95℃の場合は85℃〜95℃）の範囲をキープします。（ AUTO モード時は設定温度〜マイナス3℃です。）

【 省エネモードで運転するには 】

①出力切替スイッチを ECO にして設定完了です。

出力切替スイッチ

7. 現在時刻・曜日を合わせる

【水曜日の 19:00 に合わせる場合】

①モード切替スイッチを TIME にします。

…現在時刻と曜日が表示されます。未設定時は時刻が【−−：−−】、曜日が日曜日で表示されます。

②『H』キーを押して時を 19 に合わせます。

③『M』キーを押して分を 00 に合わせます。

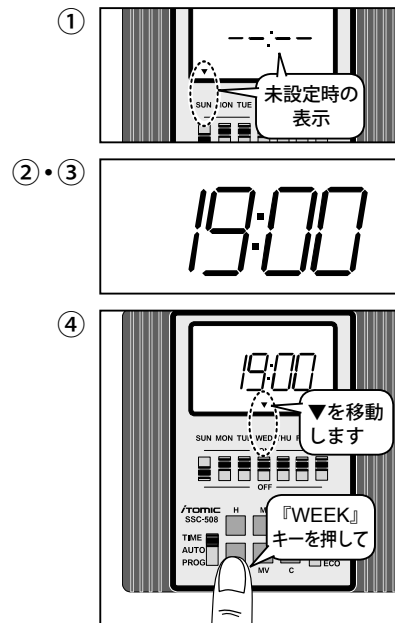
④『WEEK』キーを 3 回押して水曜日に合わせます。

⑤『SET』キーを押して決定します。

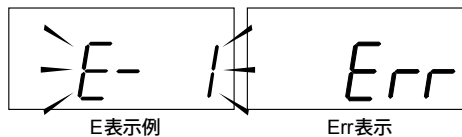
⑥モード切替スイッチを AUTO モードに戻して現在時刻、曜日の設定完了です。

①

②・③

④

8. E（異常）表示が出たら

本製品は各種の故障診断機能を備えています。故障や問題が発生したときは表示部に E が点滅表示されます。

E表示例　　Err表示

表示内容	異常内容	考えられる原因／対処方法
E-1 点滅表示	過昇温検出	**ヒーター用リレーの溶着** ヒーター用リレー交換 ⇒給湯器の運転スイッチを「OFF」にし、弊社フロント課または最寄りの営業所・地区販売会社にご連絡ください。
E-4 点滅表示	サーミスタ断線	**サーミスタの断線または短絡** 該当部品交換 ⇒給湯器の運転スイッチを「OFF」にし、弊社フロント課または最寄りの営業所・地区販売会社にご連絡ください。
E-5 点滅表示	サーミスタ短絡	
E-6 点滅表示	間欠エア抜き弁異常検出	**間欠エア抜き弁のゴミ噛みまたは故障** 一度給湯器の運転スイッチを「OFF」にし、水が出続けるか確認してください。 運転スイッチを「OFF」にしても水が出続けている場合は、運転スイッチを再び「ON」にし、間欠エア抜き弁を動作させてください。 **①間欠エア抜き弁の動作後、水が止まった場合** 間欠エア抜き弁のゴミ噛みです。 管理技術者の方にリセット作業をご依頼ください。 **②間欠エア抜き弁の動作後、水が出続ける場合** 間欠エア抜き弁の故障です。 弊社フロント課または最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。
	沸かし上げ異常	**ヒーターまたは接続電線の断線、もしくはヒーター用リレーの故障** 該当部品交換 ⇒給湯器の運転スイッチを「OFF」にし、弊社フロント課または最寄りの営業所・地区販売会社にご連絡ください。

表示内容	異常内容	考えられる原因／対処方法
E-7 と 00:00 交互表示	電池切れ	**電池切れ（時計機能保護用）** 電池交換（停電補償：約 5 年間） ⇒給湯器の運転スイッチを「OFF」にし、弊社フロント課または最寄りの営業所・地区販売会社にご連絡ください。 ただし、エラー表示が出ても以下の方法により運転を再開することが出来ます。 ①エラー表示中に出力切替スイッチを「ON」にする。 （→ P.6『連続運転する場合』参照） ②エラー表示中に時刻設定を行う。 （→ P.2『運転する時間や曜日を変更する』参照） **注意！**②の場合、電源が一度 OFF になると【E-7】が表示され再度時刻設定が必要になります。
E-8 点滅表示	マイコン 通信エラー	**マイコン通信エラー** 一度給湯器のスイッチを「OFF」にしてから「ON」に戻すと、運転を再開します。その際、設定温度、タイマー運転時刻が変更されていないかプログラム設定を再確認してください。
E-9 点滅表示	プログラム 読み込みエラー	**プログラムデータの破壊または通信エラー** 一度給湯器のスイッチを「OFF」にしてから「ON」に戻すと、運転を再開します。その際、設定温度、タイマー運転時刻が変更されていないかプログラム設定を再確認してください。
E-9 と 65c 交互表示	プログラム 読み込みエラー	**プログラムデータの破壊** モード切替スイッチを「PROG」にし、設定温度、タイマー運転時刻を再設定してください。（→ P.7『お湯の温度を設定する』参照）再設定後モード切替スイッチを「AUTO」に戻すと、運転を再開します。
E-10 点滅表示	プログラム 書き込みエラー	**プログラムデータの破壊または通信エラー** 一度給湯器のスイッチを「OFF」にしてから「ON」に戻すと、運転を再開します。その際、設定温度、タイマー運転時刻が変更されていないかプログラム設定を再確認してください。
Err 点灯	時刻設定誤り	**時刻設定誤り** 運転する時刻を再設定してください。（→ P.2『運転する時間や曜日を変更する』参照）

注意！

・E-2、E-3 はありません。給湯器の不具合は給湯器の取扱説明書をご参照ください。
・E-8、E-9、E-10 がたびたび発生する場合は、給湯器の運転スイッチを「OFF」にし、弊社フロント課または最寄りの営業所・地区販売会社にご連絡ください。

9. こんなときは

給湯器の取扱説明書も併せてご参照ください。

現象	チェックポイントと対処方法
日によって時間帯を変えたいが設定できない	本製品は日によって異なる時間帯での運転に対応していません。設定内容をご変更ください。（→ P.2『運転する時間や曜日を変更する』参照）
設定温度よりお湯がぬるい	**省エネモードで運転していませんか？** 省エネモードの場合、学習した時間帯以外ではぬるくなります。（→ P.8『省エネモードで運転する』参照） 給湯器を運転し始めたばかりではないですか？ お湯が沸くには一定の時間がかかりますので、お待ちください。
何も表示しない	**電源および運転スイッチが入っていますか？** 入っていない場合には、入れてください。 電源および運転スイッチを入れても時刻表示しない場合は、弊社フロント課または最寄りの営業所・地区販売会社にご連絡ください。

株式会社日本イトミック

本社・営業本部 ････････････････････ **TEL：03（3621）2121（代）**
FAX：03（3621）2130
〒131-0045　東京都墨田区押上 1-1-2（東京スカイツリーイーストタワー 24F）
ホームページ　http://www.itomic.co.jp/

《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

一般電話・公衆電話・携帯電話の場合（市内通話料金でご利用可能です）

0570-011039

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直しください。
※ＰＨＳ、ＩＰ電話からはご利用になれません。その場合には関東地区のお客様はフロント課、中部・近畿地区のお客様は西日本修理受付センター、その他の地域のお客様は最寄りの営業所もしくは地区販売会社まで直接お電話ください。

フロント課 ････････････････････ **TEL：03（3621）2161（代）**
FAX：03（3621）2163
西日本修理受付センター ･･････････････ **TEL：052（228）0824**

《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル課までご連絡ください。
また、部品のご注文はフロント課で承っています。

リニューアル課 ････････････････････ **TEL：03（5860）4992（代）**
FAX：03（3621）2163

《担当エリアと営業所・地区販売会社》

北海道地区 ････････････････････ **TEL:011（615）6681（代）**
（株）北海道イトミック　**FAX：011（615）7004**
〒063-0801　北海道札幌市西区二十四軒 1 条 5-1-10（ラポール 24 軒 2 号館）
担当エリア：北海道地区全域

東北・新潟地区 ････････････････････ **TEL:022（773）6161（代）**
（株）東北イトミック　**FAX：022（773）6213**
〒981-3125　宮城県仙台市泉区みずほ台 4-3
担当エリア：青森県／岩手県／秋田県／山形県／宮城県／福島県／新潟県

関東地区 ････････････････････ **TEL:03（3621）2121（代）**
（株）日本イトミック　**FAX：03（3621）2130**
〒131-0045　東京都墨田区押上 1-1-2（東京スカイツリーイーストタワー 24F）
担当エリア：東京都／千葉県／埼玉県／茨城県／栃木県／群馬県／山梨県／神奈川県／静岡県

中部・北陸地区 ････････････････････ **TEL:052（222）2561（代）**
（株）日本イトミック　中部営業所　**FAX：052（222）2559**
〒460-0002　愛知県名古屋市中区丸の内 1-4-12（アレックスビル 3F）
担当エリア：富山県／石川県／福井県／岐阜県／愛知県／三重県／長野県

近畿地区 ････････････････････ **TEL:06（6226）0800（代）**
（株）日本イトミック　関西営業所　**FAX：06（6226）0802**
〒541-0048　大阪府大阪市中央区瓦町 3-4-7（KC ビル 9F）
担当エリア：大阪府／京都府／滋賀県／和歌山県／奈良県／兵庫県

中国・四国地区 ････････････････････ **TEL:082（240）1361（代）**
（株）日本イトミック　中国営業所　**FAX：082（240）1363**
〒730-0051　広島県広島市中区大手町 1-7-12（徳永ビル）
担当エリア：鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県／香川県／徳島県／愛媛県／高知県

九州・沖縄地区 ････････････････････ **TEL:092（481）3911（代）**
（株）九州イトミック　**FAX：092（481）3930**
〒812-0007　福岡県福岡市博多区東比恵 3-28-5
担当エリア：福岡県／佐賀県／長崎県／大分県／熊本県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

KK00D10011-11

この印刷物は、再生紙と植物油インクを使用しています。

'14.03-8-1-0.2 Ⓘ